

英語ニュース教材 8月休刊のお知らせ

8月1日～31日の1ヶ月間、英語ニュース教材の発行をお休みさせていただきます。

※6/1(土)、皆様への一斉送信メールでお知らせしました。

メールが届いていない方もいらっしゃると思うので、念のため、こちらでもお知らせします。

[1ヶ月の休刊の理由について]

普段、英語塾の講師をしながら、すきま時間に英語ニュース記事を読んで教材を執筆していますが、

今年度は、私が指導担任する受験生(特に高3)の人数が通常より多く、

8月の1ヶ月間は、朝早くから夜遅くまで夏期講習の授業が集中的に入っていました。

申し訳ないことに、ニュース教材作成の時間をほぼ取れそうにないため、発行をお休みさせていただきます。

いつもニュース教材を楽しみにしてくださっている先生方、生徒さんたちに、大変申し訳ありません。

ご理解いただけますよう、お願い申し上げます。

また、いつもニュース教材を使っていたに、重ねてお礼を申し上げます。

英語ニュース教材発行は、9月から、通常通り再開します。これからもよろしくお願いいたします。

[8月のニュース教材について]

★YouTubeの英語ニュース動画は、通常通り、週に1回発信します。授業で使っていただければ幸いです。

<https://www.youtube.com/@yukienglishnews9933>

★過去の教材を、こちらで販売しています。お使いいただければ幸いです。

https://yuki-tsubaki-news.com/back_number/

[1ヶ月の期間延長について]

クレジットカードで、数カ月先まで教材費をお支払いいただいている会員の先生方の、

期間延長について、ご案内させていただきます。

8月は休刊となるため、「6ヶ月コース」あるいは「12ヶ月コース」を申し込んでいただいている

すべての方の期間を、1ヶ月延長させていただきました。(6月1日の朝10時頃、処理が終わっています)

例えば、

★A先生:4/1～9/30の期間、小・中6ヶ月コースを申込み済み

→「5/1～10/31の期間、小・中6ヶ月コース」の会員ステータスに、変更手続き済みです。

★B先生:昨年11/1～今年10/31の期間、小・中・高12ヶ月コースを申込み済み

→「昨年12/1～今年11/30の期間、小・中・高12ヶ月コース」の会員ステータスに、変更手続き済みです。

※6ヶ月コース・12ヶ月コースで申し込んでいただいている方のうち、申込期間が8月以前に終わってしまう方や、

1ヶ月コースで申し込んでいただいている方は、ステータスの変更は特にありません。

ご自分の会員ステータス(いつから、いつまで申し込んだか?)が、

わからなくなってしまった方は、お手数ですが、私のメールアドレスの tsubaki.yuki1229@gmail.com

まで、個別にお問い合わせください。

教材のダウンロード期限について

毎週金曜・朝 7:00 に「ニュース教材を発行しました」のお知らせメールを全ての購読者様にお送りしています。そのメールで「できるだけ 3 週間以内に教材をダウンロードして下さい。期間内にダウンロードできなかった場合は、お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」とお願いをしています。

万が一メールが届いていない方は、tsubaki.yuki1229@gmail.com にお問い合わせください。

また、Instagram でも、毎週金曜にお知らせを出しているので、フォローをお願いします。

★椿由紀 Instagram https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/

この教材の使い方について

- (1) 教材は Word と PDF でリリースします。Word ファイルは好きなように加工してください。不必要と思われる問題のカット(削除)、本文や設問のアレンジ差し替え、加筆修正、イラストや写真を加えるなど、自由です。
- (2) 「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい(逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい)」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。
- (3) 毎回、スペルや文法ミスがないか細心の注意を払っていますが、それでも間違いを発見した場合、後日 HP に訂正版を出しています。申し訳ありません。もしミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。
- (4) 全ての教材に暗唱文(重要な文法、使える表現を含むキーセンテンス3~5文)を付けています。「夢タン」の著者の木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道」と教えていただいたことをヒントに、2021 年から始めました。文を暗唱してからニュースを読んでも、ニュースを読んでから仕上げて暗唱しても良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事・動画

<https://www.theguardian.com/us-news/article/2024/jun/13/first-thing-world-leaders-gather-italy-g7-summit>

<https://www.aljazeera.com/news/2024/6/13/g7-leaders-to-kick-off-summit-in-italys-southern-apulia>

<https://www.reuters.com/world/troubled-g7-leaders-focus-ukraine-war-china-italian-summit-2024-06-13/>

<https://www.bbc.com/news/articles/cllldqyg19ro>

https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20240614_N01/

<https://www.eunews.it/en/2024/06/13/g7-kicks-off-world-leaders-in-italy-africa-ukraine-and-middle-east-on-agenda-but-abortion-controversy-holds-court/>

<https://au.news.yahoo.com/g7-plans-frozen-russian-assets-070418475.html>

<https://www.dawn.com/news/1839746/g7-to-lend-ukraine-50bn-by-using-russian-assets>

<https://abcnews.go.com/International/wireStory/g7-leaders-tackle-issue-migration-day-summit-italy-111114752>

<https://apnews.com/article/g7-summit-2024-italy-ukraine-live-fc5fe5c0f07e82c607cdae50a6fb6b36#>

<https://www.vaticannews.va/en/pope/news/2024-06/pope-world-leaders-g7-bilateral-meetings-zelensky-biden.html>

<https://www.aljazeera.com/news/2024/6/17/ukraine-peace-summit-why-some-countries-refused-to-sign-the-plan>

<https://www.intellinews.com/78-countries-sign-limited-communique-at-ukraine-summit-in-switzerland-330019/>

<https://edition.cnn.com/2024/06/16/europe/ukraine-peace-summit-switzerland-intl/index.html>

<https://asia.nikkei.com/Spotlight/Asia-Insight/Pope-Francis-Japan-visit-spotlights-a-safe-haven-for-Catholics>

1 ページ 単語テスト

- 単語テストからスタートします。QR コードから音声聴いて、聞こえた単語を書き取って下さい。
 - 音声を使わず、先生が教室で声に出して読んでくださった方がもっと良いと思います。
(時間がなければ、この単語テストを生徒さんの宿題にしてください。)
 - 点線のところで切り取って下さい。上半分はテスト、下半分はテスト後、生徒さんに配って答え合わせしてもらって下さい。
 - 単語テストは、「英語→日本語に直す」または「日本語→英語に直す」形が多いですが、この単語テストの形式は、「耳で聞き取った英単語の綴りを書き (Dictation)、かつ、意味を書く」というもので、英語脳と日本語脳の両方を活性化することをねらったものです。英語ニュース教材「茅ヶ崎方式 英会話」の 単語テストを参考にしました。
2. luxurious の名詞は luxury 3. cease の意味は「止める (stop)」 8. theft ※泥棒=thief

2 ページ

- Q1 Canada, France, Germany, Italy, Japan, the United Kingdom, and the United States
(アルファベット順) 常識として言えるようにしておきましょう。
- Q2 世界で最も豊かな、いわゆる「先進国」
- Q3 Because it invaded Crimea in 2014.
- Q4 It kicked off in Puglia in Italy this year(, and in Hiroshima last year).
※昨年の広島サミットも思い出しましょう。昨年もウクライナのゼレンスキー大統領が参加しました。
- Q5 (1)G7 の首脳全員が、「ただちに停戦し人質を開放し、支援物資を増やすことを含め、ガザでの戦争を終わらせる」という計画に合意した。
- (2)アフリカへの投資と、(アフリカの) 気候の変動や、(アフリカ人のヨーロッパへの) 移住に取り組むこと
※日本ではそれほど報道されていませんが、ヨーロッパに渡ってくるアフリカ移民や難民が急増していることが、ヨーロッパでは大きな問題になっているようです。
- Q6 G7 の首脳らは、2022 年にロシアが隣国 (のウクライナ) を侵略した後、凍結されたロシア資産の利子を活用し、500 億ドル (約 7 兆 8000 億円) をウクライナに支援することで合意した。
- ★Moscow は Russia を指します。(英語ニュースでは、国名の代わりに首都名を使うことがあります)
- ★G7 と EU は、約 3250 億ドル (約 51 兆円) 相当のロシア資産を凍結しており、
この資産は年間約 30 億ドルの利子を生んでいるとのこと。
- Q7 「これは、G7 の国家がロシアの財産を窃盗する行為であり、処罰を免れることはない」と言って、
非難し、報復を誓った。

3 ページ

- Q1 He is the leader of the Roman Catholic Church, and the head of state for the Vatican City.
- Q2 artificial intelligence ※基礎事項です。パッと覚えて書けるようにしましょう。
- Q3 人間としての尊厳を最優先すること
- Q4 AI のような優れた科学技術は、人間関係を単なるアルゴリズムに変えてしまう危険がある
- Q5 教皇フランシスが白いダウンジャケットを着ているディープフェイク画像が拡散され、
その画像が本物だと信じる人達が数人いたということ。 ※QR コードでその写真を確認してみてください。
- Q6 思いやりや慈悲、道徳性や許しの心など、人間的な価値観のない科学技術は、検査されることなく開発するのは、あまりにも危険です。
- Q7 自立型兵器の開発は危険だと警告し、その使用を禁止するように訴えた。
- Q8 (回答例) Autonomous weapons are scary because they can decide to attack someone without human control. This means they might make mistakes, kill innocent people, or be used in ways we can't predict. Since they act on their own, they can be very dangerous and hard to stop.

Q9 He is from Argentina.

Q10 Yes, he has. He came to Japan in November 2019.

※私が 10 年くらい前、TIME で次のような記事を読みました。

アルゼンチン出身の教皇が生まれた理由・・・カトリックの信者が年々減っていることに危機感をつのらせたバチカンのトップの人達が、カトリックの人気復活を願って、従来にいなかった南米出身のフランシスさんを教皇に指名したそうです。これには、アメリカの移民問題も少し関係しています。中南米（メキシコその他）の人々の圧倒的多数がカトリック教徒ですが、彼らが難民としてアメリカに行くと、まず最初に彼らを優しく温かく迎えて親身に世話してくれる人たちは、プロテスタントのキリスト教会の人たちです。すると、南米の移民・難民の人たちは、長年カトリック信者だったにもかかわらず、プロテスタントの信者に改宗してしまうそうです。

また、プロテスタント教会の礼拝は、楽しいゴスペルの歌やダンスがあって若者受けしますが、カトリックの礼拝（ミサ）は、昔ながらの荘厳なスタイルで、若者に受けがあまり良くないそうです。（※このプロテスタントとカトリックの礼拝スタイルの大きな違いに関しては、私のヨーロッパ人の友人からも、似たような話を聞きます）

このようにして、カトリック信者が減り、プロテスタントの人気が高まっていることにバチカンが危機感をつのらせた結果、フランシスさんを教皇に選んだり、マザーテレサを聖人認定したりして、カトリックの存在感を世界に向けてアピールしている・・・という内容の記事でした。（私の記憶を頼りに書いているので、原文や出典がはっきりしてなくて申し訳ありません。これを日本語に訳した記事を、半年後に『クーリエ・ジャポン』でも読み、よく記憶に残っています）

★歴代のローマ教皇の出身地

※Historically, the majority of popes have been from Italy, especially before the 20th century.

Pope Francis (2013–present): Argentina

Pope Benedict XVI (2005–2013): Germany

Pope John Paul II (1978–2005): Poland

Pope John Paul I (1978): Italy

Pope Paul VI (1963–1978): Italy

Pope John XXIII (1958–1963): Italy

Pope Pius XII (1939–1958): Italy

Pope Pius XI (1922–1939): Italy

4 ページ

Q1 It was held in the Swiss resort of Burgenstock. ※日本語で「ビュルゲンシュトック」の表記

Q2 Because he was busy with a fundraiser in the U.S.

Q3 (1)原子力発電所の安全 (2)食料の確保 (3)戦争囚人の全員の帰還

※ウクライナのザポロジエ原発の安全確保、食料の安全保障、ロシアに拉致された子どもたちの帰還の3つの議題を指すと思われます。

Q4 Japan has imposed strict sanctions on Russia and provided strong support for Ukraine.

Q5 「今ウクライナで起こっていることは、東アジア地域で近いうちに起こるかもしれない」という危機感から、ウクライナを支援していると述べた。（※例えば、中国が台湾を攻撃するかもしれない、ロシアが北海道を攻撃するかもしれない、といったことを指すと思われます）

Q6 (1)原子力発電所の安全の実現（Q3と重複しています） (2)地雷除去 (3)電力の供給

Q7 (回答例) ニュースに書かれていませんが、想像して書きましょう。

These countries have strong economic ties with China and Russia, while they are also maintaining strong trade partnerships with Western nations. Leaning too much to one side would be dangerous and go against their economic benefits. In particular, India imports many weapons from Russia. At the same time,

it maintains significant trade relations with the U.S. and European countries.

These countries are trying to maintain a balance with both sides by participating in the meetings but not signing the communique.

5 ページ

3. ★in developing and using AI = (when)(we) develop and use AI

“in ~ing” で「～する時」を意味する。

★並べ替え問題

1) The Pope warned specifically against the development of autonomous weapons.

2) Japan will positively contribute to realizing nuclear energy safety in Ukraine.

[Writing] 回答例

When we use AI in our lives, I think we should be careful about protecting privacy and learning new skills. First, AI often collects personal data. We need to make sure our personal information stays safe and is not leaked or misused.

Secondly, we need to learn new skills, otherwise, AI will do human work and humans will lose jobs. We should continuously develop creative and flexible thinking. Humans can make ethical judgments and moral decisions, but AI cannot. AI technology is convenient but have many shortcomings. We must continue to learn and make progress so that we can utilize AI's strengths while covering its weaknesses.